

阿寒湖畔自然体験活動～4年生（11月4日）

新型コロナウイルス感染症の影響で延期となった4年生の阿寒湖畔自然体験活動，今回は合同実施となりましたが，無事実施することができました。

社会科の学習で，自分たちが使っている水がどこからやってくるのかを調べはじめた子供たち，「水道管」「ポンプ室」「浄水場」などを通してやってくる水，その大もとはどこなのでしょう？



この辺りはまだ，周囲にホテルなどがあります。ここから上流へ！！

少し上流にやってきました。「白湯川」という川だそうです。川幅の違いや環境を調査しています。



さらに上流へと歩くと・・・何と川の中を歩けちゃいます！川幅も，水深もどんどん小さくなってきています。



さらに進むと，川が消えてしまいました。でも，土の中から水がしみ出しているのを観察することができます。

頭ではわかっているけど、「川のはじまり」を本当に見る経験をした人は、そんなに多くないのではないのでしょうか。

阿寒湖畔の豊かな森や、を網の目のように走る小さな川の1つ1つが、「保水」の役割を果たし、森林が「洪水調節」をしてくれるー豊かな自然そのものが「緑のダム」になっていることを体感できたのではないのでしょうか。



保護者の皆様には、度重なる実施日の変更にご協力くださり、ありがとうございました。

お陰をもちまして、2組合同で実施し、本格的な冬を迎える前に活動を終えることができました。

あいさつ運動（11月2日～）

児童委員会「学級3役」のみなさんが、「あいさつ運動」に取り組んでいます。

各階に立って登校してきた仲間に元気よくあいさつをしてくれています。

低学年の子供たちは、シールをもらってうれしそうです。今年度、様々な工夫が見られた委員会活動も、もうすぐ6年生が下級生に引き継ぐ時期を迎えます。取組のよさや学校の伝統を伝え、さらにパワーアップさせていってくれるよう期待しています。



読書活動サポートプロジェクト（11月8日～）

新たなメンバーを募って活動している「PTAプロジェクト」、朝読書に合わせて、「読書活動サポートプロジェクト」の取組がスタートです。早速メンバーの皆さんが、「読み聞かせ」「本の紹介や子供たちの見守り」をしてくださりました。ありがとうございました。



学芸会に向けての取組も
少しずつ熱が入ってきています

